

令和6年度小平市立小平第三中学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

(1) 教科に関する調査

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを生徒が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを生徒が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

平均正答率が東京都の平均と比べて4ポイント高く、全国の平均より6.9ポイント高い。観点別の平均においても東京都と全国の平均を上回っていることから、基礎的な知識及び技能と思考力・判断力・表現力をある程度身に付けており、日々の授業に生徒が真剣に励んでいることが分かる。

課題

東京都と全国の平均を上回ってはいるものの、思考力・判断力・表現力を問う問題の正答率は高くはなく、特に記述式の問題の正答率が低い。自分の考えをまとめて、それを分かりやすく伝える文を書く力や、必要な情報に着目して要約する力を身に付けることが必要である。

学校で取り組む具体的な改善策

- ① 文章を理解するために基本となる語彙力を高めるために、単元ごとに授業中の意味調べや短文づくりに取り組む時間を増やす。
- ② 文学的な文章に多く触れる機会を設け、豊かな表現力を身に付けられるようにする。
- ③ 問題に対する問いの答え方や考え方に着目して、読み取る力を個に応じた指導を中心に進める。
- ④ 論理的な文章を書く力を高めるために、作文に取り組む時間を増やす。

【数学】

状況の分析

平均正答率が東京都の平均と比べると3ポイント高く、全国の平均より7.5ポイント高い。観点別の平均においても東京都と全国の平均を上回っていることから、基礎的な知識及び技能は身に付けている。しかし、思考力・判断力・表現力を問う問題の正答率は34.9ポイントと低かった。

課題

「図形」に関する問いの正答率が49.8ポイントと低く、「数と式」においては説明問題が、「図形」においては証明問題の正答率が特に低い。応用力が十分に身に付いていないことと問題を解かずに最初から諦めてしまうことが原因であるので、粘り強く学習に取り組む習慣を育む必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ① 50分の授業内で問題演習が必ずできるように、時間を確保する。
- ② 文章題などの問題において、教員の解説を聞くだけでなく、自分で考える時間を確保して、粘り強く取り組む習慣を身に付けることができるようにする。
- ③ スタディサプリを活用し、授業で学習した内容の理解を深められるようにする。

【質問紙】

状況の分析

課題

「P C・タブレットなどのI C T機器を使うことで学習内容がよく分かる」という問いに対して、9 0ポイントの生徒が肯定的に捉えていた。前向きに学習に取り組むことで基礎的な知識・技能を身に付け、それが学力向上につながり、結果として国語と数学の調査で東京都と全国の平均を上回ることができたと考えられる。

休日の1日の学習時間について、6 0. 2ポイント以上の生徒が2時間未満であり、1時間より少ない生徒に限っては3 0. 8ポイントであった。多くの生徒が家庭学習を行う習慣が身に付いていない。主体的に学習に取り組む態度を育てるためにも、宿題などの課題を設けるだけではなく、より学びたい授業づくりに励む必要がある。

学校で取り組む具体的な改善策

本年度の研究主題は「G I G Aスクール構想に伴い、教員がI C Tを有効に活用し、生徒の効果的な学習につなげる」である。7月には外部講師を招いてI C T機器の効果的な活用についての説明をしてもらったり、1 0月には教員同士でI C T機器を活用した授業実践を紹介したりする予定であり、定期的に研修会を実施している。授業中にクロムブックなどを使用する機会を増やすことで生徒も授業に意欲的に取り組むようになってきた。しかし、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が多く、授業で学習したことを生かしきれていない現状がある。4月から導入しているスタディサプリを活用し、家庭学習に取り組めるようにしている。しかし、教師主導では主体的な学習とは言い難く、自発的に学習に取り組む授業づくりに励む必要があり、様々な研修を通して授業力を高められるようにしていく。